



2025年2月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2025年1月14日

上場会社名 株式会社 ワイズテーブルコーポレーション
コード番号 2798 URL <https://www.ystable.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 船曳 睦雄

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 武本 尚子

TEL 03-5412-0065

配当支払開始予定日

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年2月期第3四半期の連結業績(2024年3月1日～2024年11月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年2月期第3四半期	8,937	7.7	78	29.5	160	17.1	105	
2024年2月期第3四半期	8,301	17.6	111		194	141.6	30	

(注) 包括利益 2025年2月期第3四半期 105百万円 (%) 2024年2月期第3四半期 30百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年2月期第3四半期	32.07	
2024年2月期第3四半期	9.38	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年2月期第3四半期	4,796	523	10.9	158.67
2024年2月期	4,715	417	8.9	126.61

(参考) 自己資本 2025年2月期第3四半期 523百万円 2024年2月期 417百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2024年2月期	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年2月期		0.00		0.00	0.00
2025年2月期(予想)				0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年2月期の連結業績予想(2024年3月1日～2025年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	12,069	7.0	225	25.3	338	8.8	306	169.5	93.05

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2025年2月期3Q	3,298,400 株	2024年2月期	3,298,400 株
期末自己株式数	2025年2月期3Q	282 株	2024年2月期	236 株
期中平均株式数(四半期累計)	2025年2月期3Q	3,298,133 株	2024年2月期3Q	3,298,164 株

添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績等の見通しは、当社が現時点において合理的と判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は見通しと異なることがあります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8
(セグメント情報等の注記)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、賃上げの動きや訪日外国人旅行者数の増加など前向きな動きがみられましたが、ウクライナ情勢、イスラエル・パレスチナ情勢等に起因した物価上昇等もあり、依然として不安定な状況です。

外食業界におきましては、経済活動の正常化に伴う消費者の外食需要の増加及びインバウンド需要により回復傾向にある一方、昨年に引き続き猛暑や、台風・豪雨等による経済活動の乱れの影響を受けました。人材不足や食材費等の価格高騰も激しく、事業環境は引き続き厳しい状況です。

このような状況の下、当社グループは、高付加価値化、インバウンド需要の取り込み、和食事業の強化、カジュアルイタリアン事業の展開、そして人材不足・コスト高騰への対応といった課題に取り組んでまいりました。

当第3四半期連結累計期間におきましては、外食需要の回復やインバウンド需要の増加等により売上高は堅調に推移してまいりました。2024年7月及び8月には、台風や猛暑の影響による消費活動の停滞により売上高の伸び悩みもありましたが、9月以降は好調に転じ、当第3四半期連結累計期間の売上高は前年同期を上回りました。利益面におきましては、増収による増益効果はありましたが、複数の新規出店及び旗艦店の一つである「XEX WEST」の全面改装等、新規投資及び付加価値を高める投資に取り組んだことに加え、人材確保にかかる費用が増加したこと等により、前年同期を下回ることとなりました。

これらの結果、売上高は8,937百万円（前年同期比7.7%増加）、営業利益は78百万円（前年同期比29.5%減少）となりました。また、営業外収益として持分法による投資利益38百万円を計上したこと等により、経常利益は160百万円（前年同期比17.1%減少）となりました。法人税等調整額49百万円を計上したこと等により、親会社株主に帰属する四半期純利益は105百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失30百万円）となりました。

当第3四半期連結累計期間におけるセグメントの状況は次の通りであります。

①XEXグループ

「XEX」をはじめとする高級レストラン事業であるXEXグループについては、引き続き、高付加価値化の方針のもとでブランド力向上のための企画や、インバウンド需要の取り込みに取り組んでまいりました。台風や猛暑の影響による来店客数の減少は一部みられたものの、総じてインバウンド需要が堅調で、売上高は前年同期を上回って推移いたしました。利益面におきましては、新規出店及び既存店の改装にかかる費用増はありましたが、増収及び生産性向上により吸収し、営業利益も前年同期を上回りました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の同グループの売上高は3,569百万円（前年同期比8.3%増加）、営業利益は297百万円（前年同期比16.5%増加）となりました。

店舗の状況につきまして、2024年7月に、直営店「ぎおん 刀」を新規に出店いたしました。また、2024年8月中旬より9月上旬にかけて「XEX WEST」の全面改装工事を実施いたしました。これらの結果、店舗数は直営店10店舗となりました。

②カジュアルレストラングループ

カジュアルレストラングループについても、付加価値の向上と客単価の引き上げに努めてまいりました。イートインの営業につきましては、夏場の台風や猛暑の影響はあったものの、経済活動の正常化及び新店舗の寄与、団体需要の取り込み等により、売上高は前年同期を上回りました。デリバリーの営業につきましても、経済活動の正常化と外食需要の回復に伴う減収傾向が下げ止まり、また、企業等からのケータリングの受注も好調で、前年同期を上回って推移いたしました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の同グループの売上高は5,368百万円（前年同期比7.2%増加）、営業利益は520百万円（前年同期比2.7%増加）となりました。

店舗の状況につきまして、2024年4月に、直営店「SALVATORE CUOMO Cafe テラスモール湘南」、FC店「La Stagione 軽井沢」を、同6月に、直営店「A destra Salvatore」、同9月に、FC店「SALVATORE CUOMO Cafe 所沢」をそれぞれ新規に出店いたしました。また、2024年3月に、直営店「THE GRILL SEASONING & HERBS」の業態を変更し、「PIZZERIA MANCINI TOKYO」としてリニューアルオープンいたしました。2024年5月には直営店「SALVATORE CUOMO & BAR 千葉」をFC企業に売却し、また同7月にはFC店を直営化して改装し、「Tavernetta Salvatore 仙川」としてリニューアルオープンいたしました。一方、直営店「PIZZA SALVATORE CUOMO 三鷹」及び「STEAK THE FIRST 日本橋」を閉店し、経営資源の効率化を図りました。これらの結果、店舗数は直営店38店舗、FC店30店舗となりました。

③その他

その他は、人材派遣事業（ただし同事業は休眠中）により構成されております。当第3四半期連結累計期間の同グループの売上高は一百万円（前年同期は売上高一百万円）、営業損失は1百万円（前年同期は営業損失1百万円）となりました。

（2）財政状態に関する説明

（資産）

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は2,743百万円となり、前連結会計年度末に比べ63百万円減少いたしました。これは主として、借入金の返済を行ったこと及び新規出店及び店舗設備の維持更新工事を行ったこと等による現金及び預金の減少277百万円等によるものです。固定資産は2,052百万円となり、前連結会計年度末に比べ144百万円増加いたしました。これは主として、新規出店及び店舗設備の維持更新工事を行ったこと等による建物及び構築物の増加75百万円、敷金及び保証金の増加64百万円等によるものです。

この結果、総資産は4,796百万円となり、前連結会計年度末に比べ81百万円増加いたしました。

（負債）

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は1,864百万円となり、前連結会計年度末に比べ139百万円増加いたしました。これは主として、仕入高の増加による買掛金の増加119百万円、金融機関からの借入による短期借入金の増加25百万円、営業活動の活発化に伴う未払金の増加78百万円等によるものです。固定負債は2,408百万円となり、前連結会計年度末に比べ163百万円減少いたしました。これは主として、返済による長期借入金の減少167百万円等によるものです。

この結果、負債合計は4,273百万円となり、前連結会計年度末に比べ24百万円減少いたしました。

（純資産）

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は523百万円となり、前連結会計年度末に比べ105百万円増加いたしました。これは主として、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上105百万円等によるものです。

この結果、自己資本比率は10.9%（前連結会計年度末は8.9%）となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2024年10月15日の「2025年2月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）」で公表いたしました通期の予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年2月29日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,792,207	1,514,889
売掛金	613,906	764,860
原材料及び貯蔵品	155,430	193,685
その他	247,793	273,409
貸倒引当金	△2,303	△2,865
流動資産合計	2,807,034	2,743,980
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	622,942	698,077
その他(純額)	144,058	204,252
有形固定資産合計	767,000	902,330
無形固定資産		
その他	4,374	9,144
無形固定資産合計	4,374	9,144
投資その他の資産		
投資有価証券	135,828	174,660
長期貸付金	298,101	238,101
敷金及び保証金	575,373	639,486
その他	173,471	128,987
貸倒引当金	△46,154	△40,000
投資その他の資産合計	1,136,620	1,141,236
固定資産合計	1,907,995	2,052,712
資産合計	4,715,029	4,796,692
負債の部		
流動負債		
買掛金	451,507	571,156
短期借入金	—	25,001
1年内返済予定の長期借入金	222,932	222,932
未払金	592,291	670,919
未払法人税等	4,201	3,319
契約負債	64,486	70,305
株主優待引当金	64,332	41,924
店舗閉鎖損失引当金	13,255	6,194
その他	312,192	253,085
流動負債合計	1,725,199	1,864,837
固定負債		
長期借入金	1,689,214	1,522,015
資産除去債務	815,529	832,926
その他	67,500	53,597
固定負債合計	2,572,244	2,408,539
負債合計	4,297,443	4,273,376

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年2月29日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年11月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	50,000	50,000
資本剰余金	375,831	375,831
利益剰余金	△7,952	97,825
自己株式	△556	△688
株主資本合計	417,322	522,969
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	262	346
その他の包括利益累計額合計	262	346
純資産合計	417,585	523,315
負債純資産合計	4,715,029	4,796,692

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年3月1日 至 2023年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年11月30日)
売上高	8,301,142	8,937,862
売上原価	6,661,623	7,195,306
売上総利益	1,639,518	1,742,556
販売費及び一般管理費	1,527,933	1,663,848
営業利益	111,585	78,707
営業外収益		
受取利息	5,490	4,122
協賛金収入	26,764	24,353
持分法による投資利益	45,767	38,703
その他	35,059	31,658
営業外収益合計	113,082	98,837
営業外費用		
支払利息	13,951	14,156
その他	16,615	2,465
営業外費用合計	30,566	16,621
経常利益	194,101	160,923
特別損失		
減損損失	192,851	2,323
特別損失合計	192,851	2,323
税金等調整前四半期純利益	1,249	158,599
法人税、住民税及び事業税	747	3,319
法人税等調整額	31,440	49,501
法人税等合計	32,188	52,820
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△30,938	105,778
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△30,938	105,778

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年3月1日 至 2023年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年11月30日)
四半期純利益又は四半期純損失 (△)	△30,938	105,778
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	23	84
その他の包括利益合計	23	84
四半期包括利益	△30,915	105,862
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△30,915	105,862
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次の通りであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年3月1日 至 2023年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年11月30日)
減価償却費	128,895千円	122,534千円

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2023年3月1日 至 2023年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	XEX グループ	カジュアル レストラン グループ	計				
売上高							
外部顧客への売上高	3,294,264	5,006,877	8,301,142	-	8,301,142	-	8,301,142
セグメント間の内部売上高又は振替高	-	-	-	-	-	-	-
計	3,294,264	5,006,877	8,301,142	-	8,301,142	-	8,301,142
セグメント利益又はセグメント損失(△)	255,686	506,770	762,457	△1,719	760,737	△649,152	111,585

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、休眠中の人材派遣事業を含んでおります。

2 セグメント利益又はセグメント損失の調整額△649,152千円は、各セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費です。

3 セグメント利益又はセグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

当第3四半期連結累計期間に、「XEXグループ」セグメントにおいて82,148千円、「カジュアルレストラングループ」セグメントにおいて110,702千円の減損損失を計上しております。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間（自 2024年3月1日 至 2024年11月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	XEX グループ	カジュアル レストラン グループ	計				
売上高							
外部顧客への売上高	3,569,323	5,368,538	8,937,862	-	8,937,862	-	8,937,862
セグメント間の内部売上高又は振替高	-	-	-	-	-	-	-
計	3,569,323	5,368,538	8,937,862	-	8,937,862	-	8,937,862
セグメント利益又はセグメント損失(△)	297,874	520,692	818,566	△1,712	816,854	△738,146	78,707

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、休眠中の人材派遣事業を含んでおります。

2 セグメント利益又はセグメント損失の調整額△738,146千円は、各セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費です。

3 セグメント利益又はセグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

当第3四半期連結累計期間に、「カジュアルレストラングループ」セグメントにおいて2,323千円の減損損失を計上しております。